

議 員 総 会 会 議 録

日時：平成２８年１０月１１日（火）

場所：全員協議会室

午後１時３０分 開会

○澤田勝議長

ただいまから議員総会を開会します。今日は協議題が２つです。初めに議題１．事業評価について行います。各３常任委員会のそれぞれの分科会で事業評価を取りまとめていただいておりますが、先週水曜日に各議員の皆様のお手元に届いていると思います。お目通しをいただいたという前提で協議を進めていきますのでよろしくお願いします。議会としての事業評価をまとめますが昨年は概ね１時間程度、最大でも１時間と少し超えたくらいで終わっていますが、時間にこだわるわけではありませんが、協議をし出すと逆に終わらない可能性がありますので、昨年と同様に進めていきたいと思いますのでご協力をお願いいたします。それでは３分科会、総務委員会から順番に委員長から提言といえますか、当局に対しての今後の方向性の部分、特に重点的な部分を端的にご説明いただき、その後に各議員からご指摘をいただきながら議会としての提言にしていきたいと思います。

では最初に総務委員長からお願いします。

○沢田清総務委員長

【資料「個別施策評価シート」に基づき説明】

○澤田勝議長

ただいま総務委員長から「自主防災組織の強化」「防犯意識の向上」「安全な歩行空間の確保」の３つのご提案をいただきました。説明がありましたように３枚とも一番下のその他のコメント欄の項目を追加すべき事業の欄に移動するという事でよろしいですか。この３事業とも同じようにということですね。

○沢田清総務委員長

はい、お願いいたします。

○澤田勝議長

わかりました。他の分科会の様式を見ながら改めて委員長からご提案がありましたので、その点については変更するという前提で進めてまいりますのでよろしくお願いします。それでは今の説明で「自主防災組織の強化」について、ご不明な点や疑問がありましたら質疑をお願いいたします。

○中村宗雄議員

特に疑問もありませんし上手くまとまっていると思いますので、こう直してもらえたらと思うところが３点ほどあります。まず他の分科会が一番上の個別施策の実現に向けて順調かの部分の３つに箱の中にそこに何を書くかが括弧書きにしています。その様式を統一していただきたいという点と、施策の今後の方向では、消防団等との連携強化とありますが、これは消防団と防災交通課の連携強化を言っているのか、消防団と隣組なのか、消防団と自主防災組織なのか、どことの連携強化を図るのか言葉を足していただけるとさらにわかると思います。あとその一つ下の住民の自助・共助（互助）の意

識形成を図る。とありますが、今はこういう言葉では意識の醸成という言葉が使われた方が趣旨にあっているのではないかと思いますので、その３点ほど直していただけるとより良いものになると思いますのでご検討のほどお願いします。

○澤田勝議長

委員長、よろしいですか。

○沢田清総務委員長

総務委員の方で何か違うと思われる方がいればその場で言っていただければ結構ですが、基本僕が答えますけど、僕と違うようであればこの場でおっしゃっていただければ結構です。今、言われたのは様式をそろえるために順調に進んでいる点、遅れている点、その他コメントと括弧書きで入れることと、施策の今後の方向、追加すべき事業はないかの中の２つ目、消防団等と自主防災会との連携強化が具体的に…というように文言を加える。その下の住民の自助・共助（互助）の意識醸成を図る。というように文言を変えます。この３点いただきました。指摘そのままズバリだと思いますので。

○中村宗雄議員

意識の醸成のほうがいいかもしれません。

○沢田清総務委員長

の、を入れて意識の醸成に変えるということです。

○成田吉毅総務副委員長

消防団との連携強化は、自主防災会と言いましたが自主防災組織の強化にしたいと思います。

○沢田清総務委員長

では自主防災組織の強化とします。

○澤田勝議長

では今ご指摘のありました点については、総務委員会としても委員長のほうで了解ということでよろしいでしょうか。他にありませんか。

○久世孝宏副議長

追加すべき事業はないかの部分でより地域で求められるリーダーとなる施策が必要とありますが、地域で求められるリーダーというのがピンと来なくて、どんなリーダーなのか、具体的に表現してもらえるといいと。例えばいわゆる自主防災組織と防災リーダーが連携して活動している姿なのか、みんなを引っ張っていくようなリーダー像なのか、その辺りがこの地域で求められるところがわかりにくいので、どんなリーダー像なのかということとできればそういうことも書いたほうがわかりやすいと思いますが。いかがでしょうか。

○沢田清総務委員長

ありがとうございます。ここで言うより地域で求められるというのは、参加をしてくれる、防災リーダーの資格を取らせることは行政がしているが、取った人たちが自主防災会を開催するときに参加してもらえるような努力をしていないだろうと、というところで地域に求められるに至っていない。参加してくれる人を育ててくれることが防災組織の強化につながると思いますので、その文言として何をプラスするかですね。

○澤田勝議長

今ご提案いただいたより地域に求められるリーダーとはどういうものかということをもた改めて表現の仕方については委員長にお任せをします。

○沢田清総務委員長

はい。変更することで納得しましたので。このままではわかりづらいので。

○久世孝宏副議長

趣旨が連携してみんなでやっていこうというような。

○澤田勝議長

僕も総務委員会ですので、防災リーダーの資格を取ったとしてもなかなか地域で生かされていないという課題があって、いろんな地域で活動しているかもしれないけどより地域で自主防災組織に加わっていないという現実もあるということが確か課題だったと思いますので、この辺の表現を委員長にお任せしますのでお願いします。

自主防災組織の強化について、他にありませんか。

【発言する者なし】

では次に防犯意識の向上に移ります。これについて何か質問等ありましたらお願いします。

○鈴木幸彦議員

2枚目ですが、上から3つ目の欄のその他コメントの位置に多くの事業が行われてはいるが、という文言が入っています。これは一つ上の遅れている点と捉えてもいいのではないかと思います。今はなしとなっていますが、欄を動かしてもいいというお考えでしたので、ご返答いただきたいと思います。それとすぐ下に防犯対策のノウハウが足りない。とありますが誰なのかということが気になりまして、事業評価なので防災交通課なのかと思いますが、もしも可能でしたらその言葉を付け足していただけるとわかりやすいと思います。

○沢田清総務委員長

ありがとうございます。まず一番上の個別施策の一番下の欄に書いてあるものを真ん中の欄に入れたほうがいいということ。それから個別施策実現のために必要な内容が不足していないかの防犯対策の前に「防災交通課の防犯対策のノウハウが足りない」とします。また2枚目についても一番下のその他コメントを追加すべき事業の欄に移します。

○澤田勝議長

今の2点のご指摘については、他の総務委員の方、他の議員の方はよろしいですか。

【発言する者なし】

ありがとうございます。では2枚目についても1枚目と同様に個別施策の実現に向けて順調か。の欄にそれぞれ括弧書きを付け加えるということをお願いします。「防犯意識の向上」について他にありませんか。

○岩田玲子議員

一番下のその他コメントの3つ目ですが市民協働課を交えてのところに市民協働課等としたらと思います。他の課も強化を図る必要があるかもしれませんので、等を加えてはどうかと思います。

○沢田清総務委員長

市民協働課だけではなく、高齢介護課や地域福祉課などいろいろありますので「等」を入れさせていただきます。よろしいでしょうか。

【発言する者なし】

○澤田勝議長

他にありませんか。

【「なし」との声あり】

それでは次に移ります。「安全な歩行空間の確保」についてですが、ご指摘、ご質疑がありましたらお願いします。

○中村宗雄議員

施策の今後の方向の注力すべき事業に交通標識の整理が必要である。とありますが、これが何を示しているのか。これはきっと話のいきさつからすると、半田市が独自で設置している立て看板のようなものを指しているのか、止まれ速度制限など警察が設置しているものなのか区別がつかないので、どんなものを整理するのか、整理の内容も具体的にわかれば書いていただければと思います。また一番上の個別施策の２段目に事業が足りないと書いてあるのは当局に説明ができないと安全な歩行空間の確保を実現する事業が足りないとか、下の放置自転車・自動車等対策事業のみである。というのは、「これしかやっていない」みたいな表現に変えられたほうが意味合いはわかりますが、誰が読んでもわかる表現に変えられた方がいいと、お願いしたいと思います。

○沢田清総務委員長

今のご指摘の点について、少し文言を足すなどして整理をさせていただくというところですが、交通標識の整理が必要であるというところは、半田市が設置している交通標識全般の意味を指しますので、例えば立て看板等という文言を入れて、歩道の邪魔をしている半田市設置の看板を整理する必要があるというようにするという事で委員の皆さんと話し合い変えさせていただきます。

○成田吉毅総務副委員長

まず上から２つ目の欄については、安全な歩行空間を確保・実現するための事業が足りないというような形にしたいと思いますが、委員長と相談しながら決めたいと思います。

それから施策の今後の方向性の一番上の欄ですが、これは半田市が設置している立て看板のことを言っていますので、「歩道の邪魔している半田市設置の交通標識（立て看板）などの整理をし、安全な歩行空間を確保することが必要である。」などと整理することを委員長と相談したいと思います。

○澤田勝議長

今ご指摘の部分も修正していきたいということですので、よろしくお願いします。

○加藤美幸議員

一番最後のコメントのところで、「防災交通課が主体となり、市内の歩道や道路標識、交通標識を点検し、歩行空間の現状を把握すること。」とありますが、そこに特に、障がいのある方や子育て中の方、高齢者などの立ち合いの元、多様な視点を施策に反映するようにしていただきたいと思います。

○石川英之議員

総務委員の一人としてお答えさせていただくと、あくまで主体が防災交通課ということです。誰を誘うとかはここには盛り込んでありません。加藤さんのご指摘は、やり方論ですので、このままでよいと思います。

○澤田勝議長

ほかにありませんか。

（「なし」との声あり）

ないようですので、総務委員会分科会の「自主防災組織の強化」「防犯意識の向上」「安

全な歩行空間の確保」については、ご指摘いただいた修正を加えて、明日中に、議長に出して下さるようお願いいたします。

続きまして、文教厚生委員会分科会の事業評価についてお願いします。

先ほどは解りにくかったので、一つずつお願いします。

では、最初に「保育サービスの充実」ということで、文教厚生委員長からお願いします。

○鈴木好美文教厚生委員長

【資料「個別施策評価シート」に基づき説明】

○澤田勝議長

では、「保育サービスの充実」について、改善的な指摘や質問があればお願いします。

○成田吉毅議員

施策の今後の方向性の追加すべき事業はないかのところで、「保護者への転園の働きかけ」の保護者というのは。兄弟姉妹の保護者を指しているのか、それともそれ以外の保護者を指しているのかが分かりづらいということと、保護者に無理やり強制的に働きかけるのかということなど、どのような働きかけをするのかを解りやすくしていただきたいと思います。

○渡辺昭司議員

兄弟姉妹で通っている子どもの保護者なのか、替わっていただければ調整がつくという保護者なのか、どちらなのか、当局や第三者が分かりにくいということです。正副委員長で調整させていただきます。

○澤田勝議長

しばらく休憩します。

午後 2時02分 休憩

午後 2時05分 再開

○澤田勝議長

会議を再開します。ほかにありませんか。

○加藤美幸議員

「正確なニーズ把握と予想ができていない」とありますが、正確なニーズとは、具体的にどういうもので、どのように集めるのか、というものはありますか。

○鈴木好美文教厚生委員長

中途で入ってくる子どもの予測が出来ていないため、「正確なニーズ把握」と書かせていただきました。

○加藤美幸議員

「正確なニーズ把握」はとても大事だとは思いますが、待機児童が発生するのは途中で子どもを保育園に入れたいとすることであり、正確なニーズを図るタイミングというのはどのようなのでしょうか。妊娠中なのか、妊娠前なのか。

○渡辺昭司議員

委員会の中での話としては、年度途中で低年齢児に待機児童が出てしまうということがニーズの把握が出来ていないからではないか。ということで、何か対策が取れないかということになり、正確なニーズ把握という話が出ました。

○石川英之議員

今の話をトータルすると、項目は2つあるが内容的にはひとつですね。

正確なニーズが把握出来ていないから低年齢児の待機児童を防ぐ対策もできていない。
ということですね。

○成田吉毅議員

個別施策の2つの項目と対応しているものと理解しています。

○澤田勝議長

しばらく休憩します。

午後 2時10分 休憩

午後 2時21分 再開

○澤田勝議長

会議を再開します。ほかにありませんか。

○中川健一議員

順調に進んでいる点で、「他市に比べ」とはどこのことを指していますか。また、「病児病後児保育等が充実している。」とありますが、具体的にはどのようなことを指していますか。病児保育は、常滑市も東海市も知多市も大府市も実施しており、半田市だけが来年4月から実施ということで遅れています。東浦町もすでに行っていますので、どういう理由で「他市に比べて多様な事業を展開している」となるのですか。

○山内悟議員

早延長と一時預り、病児保育は確かに今からです。

全体で2,800人位の保育児童がおり、待機児童が8人いるとか、兄弟児が48人はみ出ているとかはありますが、その数からいうと全体的には概ね進んでいるのではないかと評価したということです。

○新美保博議員

27年度には少なくとも病児保育はやっていないのだから、書かないほうが良いのではないか。

○澤田勝議長

しばらく休憩します。

午後 2時23分 休憩

午後 2時26分 再開

○澤田勝議長

会議を再開します。

○鈴木好美文教厚生委員長

順調に進んでいる点として、「こども子育て支援事業計画に基づいて進行しており、多様な事業を展開している。そのために点数としては65点をつけた。」後の部分は消します。

○澤田勝議長

ほかにありませんか。

○成田吉毅議員

さきほどの保護者への転園の働きかけの件で、もう少し柔らかく言ったほうがいいと思います。改善に努めるべきということ、働きかけを絶対するぞということになる。うまく表現していただければと思います。

○澤田勝議長

表現を柔らかくすることは委員長で出来ますか。

では表現を柔らかくするようお願いします。ほかにありませんか。

(「なし」との声あり)

ないようですので、次に移ります。

「地域社会への参加の促進」について、説明をお願いします。

○鈴木好美文教厚生委員長

【資料「個別施策評価シート」に基づき説明】

○澤田勝議長

説明は終わりました。御質疑がありましたらお願いします。

○久世孝宏議員

評価する個別施策の一番上のところが改訂版の総合計画になってしまっています。本来でいえば昨年度の状態で評価しなければならないので、「老人クラブやシルバー人材センターなどの」から「高齢者が社会参加する活動」までが改訂版で追加された内容なので今回は消しておきましょう。

○澤田勝議長

今の副議長からの指摘がありますので、ここは除いた部分で評価したいと思いますのでよろしくお願いします。

ほかに、御質疑ありませんか。

○中村宗雄議員

こういうふうにしたら良いのではないかという部分が4つあります。

1点目は、個別施策の実現に向けての遅れている点ですが、「事業はあるが地域社会・・・」というところですが、普通の日本語の並びでいうなら「地域社会の参加の促進に効果的な事業が行われていない」とすべき。「個別施策の実現のために必要な内容が」というところも同じ文が入ってきます。

2点目は、注力すべき事業について、書き方マニュアルでは箇条書きにすることとなっています。

本来4つの項目になるところが2つの項目になっているので、4つにすることで他の委員会とも擦りあってくるのではないかと。

(3点目は)4つに見立てると、4つの書き方のレベルに差があると思います。

「地域活動に参加しようとする人がどんなことに参加したいのか。なぜ参加しないのか。アンケートで調査分析すべき」というのは今やっていない事業なら追加すべき事業に入れるべき。

(4点目は)ほかのところで、すべてカッコ書きになっているが、注力すべき事業がすごく大きくざっくりしている。「見直し、戦略的に考える」とか、「意識改革が必要」とか、当局に向かって通用するのか。具体的にどういうところか少し書き加えられたら解りやすいということです。

○澤田勝議長

表現の修正は委員長で直していただくということでもいいですか。また、3点目は、「追加すべき事業」に移動することでもいいですか。

(「異議なし」との声あり)

では、そのようにお願いします。

○新美保博議員

「人と人とのコミュニケーション・・・」の部分を少し説明してください。

○鈴木好美文教厚生委員長

結局、地域参加をするためには人と人とのコミュニケーションがないということから、例えば民生委員にお願いすれば高齢者のところに行くので声掛けをしていただき参加しやすい形にしたいということです。

○新美保博議員

人と人とのコミュニケーション不足ということでよいのか。

○鈴木好美文教厚生委員長

地域社会に参加できないからコミュニケーションが必要ということで、民生委員の方に手を入れていただければと思いました。

○澤田勝議長

しばらく休憩します。

午後 2時38分 休憩

午後 3時01分 再開

○澤田勝議長

会議を再開します。

「地域の特性を生かした地区公民館の運営」について、文教厚生委員長からの端的に説明をお願いします。

○鈴木好美文教厚生委員長

【資料「個別施策評価シート」に基づき説明】

○澤田勝議長

説明は終わりました。ご質疑がありましたらお願いします。

○石川英之議員

調査する個別施策が、「拠点として活用するため運営方法など調査研究を進めます」とうたってあるが、拠点施設になるかならないかわからないという状況なのか、といいながらも、「地域の課題解決の拠点として活用することに対する意識が薄く」とあり、活用することが決定しているようにも読み取れる。実際に個別の施策の意図する部分はどこにあるのですか。

○榊原伸行文教厚生副委員長

現時点では生涯学習の観点からは活用されていますが、地域の課題解決のための場としては全くなされていないことと、地域差のことも含めて書かせていただきました。

○石川英之議員

私が聞きたかったのは、個別施策の中で、「活用するために運営方法などの調査研究を進めます。」ということは、調査研究の結果、拠点にならないということも有り得るのかということです。何年かかって調査研究しているのか知りませんが、だからこそやっていないということもあり得ます。もしくは、活用は決定していて、あとは運営方法が調査研究してないということなのか。ということです。

○榊原伸行文教厚生副委員長

各公民館によって格差があり、やっていない所もあり、その点は是正しないといけないということです。やっているところはやっています。

○渡辺昭司議員

決算審査のときに当局に対して、公民館という施設自体が地域の課題解決のための拠点施設かと尋ねたら、「そうだ」という答えがありました。それに対して何をやっている

かを尋ねたら、岩滑などの活動を説明されましたが、あまりしっかりやっているとは感じられませんでした。

○中村宗雄議員

公民館のことは地域ごとに全然取り扱いが違います。純粹に社会教育施設として活用されている所や、区に取り込まれてしまっている所などがあります。

事情の違うものを串刺しにして議会が提言として「地域の課題解決の拠点として公民館職員に啓発すべき」と述べてよいものか。

もう少し地域の実情に合わせた表現にして、本来の公民館活動を述べておくとかが必要ではないか。上手くいっている先進的な有協や岩滑を中心に、全部そうなるんだというわけにはいかない事情があると思います。各議員も各地域から出ているので、あまり実情を無視したものはどうか、表現を考えていただきたいと思います。

○加藤美幸議員

「公民館運営において地域の課題解決の拠点として活用することに対する意識が低く」とあるが、誰の意識が低いのが分かりませんし、果たして意識が低いと書いてしまっているのかと思います。

○澤田勝議長

中村議員の指摘を含めて、文教厚生委員会で調整をお願いします。

○新美保博議員

この文章だけを読むと「地域課題の解決する拠点」として立っているのか立っていないのか。「ありき」にも見える。決算の時に当局が拠点施設として認めたということをどこかに書いておかないといけない。

○澤田勝議長

しばらく休憩します。

午後 3時12分 休憩

午後 3時16分 再開

○澤田勝議長

会議を再開します。

決算審査で「地域の課題を解決する拠点」としての答弁があったそうなので、文章で明確化して加えるという案が出ていますが、文教委員としてはいかがでしょうか。

○鈴木好美文教厚生委員長

追加していきたいと思います。

○澤田勝議長

先ほどの加藤美幸議員の質問ももう一回いいですか。

○加藤美幸議員

個別施策実現のために必要な内容が不足していないか。のところで、「地域の課題解決の拠点として活用するための意識が低く」の部分の主語はだれでしょうか。誰の意識が低いのでしょうか。

○鈴木好美文教厚生委員長

公民館館長および公民館主事です。

○久世孝宏議員

議論の中では、行政職員だったと思います。

基本的に公民館の館長はこういうふうになっていることすら知らないのです、そこに周知

していない行政職員が悪いということです。

○澤田勝議長

では、行政職員だと思われますので、そこを確認の上、誰かということをも明記してください。

ほかにありませんか。

（「なし」との声あり）

ないようですので、次に建設産業委員会に移ります。

「廃棄物の適正処理」をお願いします。

○鈴木幸彦建設産業委員長

【資料「個別施策評価シート」に基づき説明】

○澤田勝議長

説明は終わりました。御質疑がありましたらお願いします。

○沢田清議員

順調に進んでいる点にごみステーションがあるが、ごみステーションの管理が全然出来ていないと疑問を感じます。既存のゴミステーションの維持というように変えてもらえばよいと思います。

○鈴木幸彦建設産業委員長

言われてみればごもっともです。掃除や管理は自治区でやっていますが、補修等は昨年度より増えています。実際に足りていない地域もあり、今あるごみステーションは上手く設置されていますが、数は足りないというふうに修正します。

○澤田勝議長

ほかにありませんか。

（「なし」との声あり）

ないようですので、次に移ります。

「知多半田駅前土地区画整理事業の早期完了」をお願いします。

○鈴木幸彦建設産業委員長

【資料「個別施策評価シート」に基づき説明】

○澤田勝議長

説明は終わりました。御質疑がありましたらお願いします。

○新美保博議員

土地区画整理事業の良し悪しと未利用地の問題や商業施設の誘致は別だと思う。

大失敗はそこにあるわけではない。殊更いう必要はない

そのことと今の現状を言うと、話がごちゃごちゃになってしまう。

区画整理事業を早くやったからと言って未利用地が全部完了するということではない手を差し伸べることは出来ても行政が行う問題ではないので整理したほうが良い。

○中村宗雄議員

言うとおりで。この失敗から何を学んだか。そして何を生かすかということが一点。

そして、こういう結果に終わってしまって、これは半田市の課題としてどこかの課が引き継いでいかなければいけない。ということ。

大事なのはこの2点なので、その現実をきちんと総括して評価していきたいということでご理解ください。

○澤田勝議長

ほかにありませんか。

(「なし」との声あり)

ないようですので、次に移ります。

「安心して利用できる道づくり」をお願いします。

○鈴木幸彦建設産業委員長

【資料「個別施策評価シート」に基づき説明】

○澤田勝議長

説明は終わりました。御質疑がありましたらお願いします。

○久世孝宏副議長

追加すべき事業のところで、「マイレポはんだの本来の市民協働ツールとしての発展が必要」とはどういうことを意味していますか。

○鈴木幸彦建設産業委員長

本来のマイレポはんだは、今日「ここで草刈りをやりますよ。」というときに、「私も空いているからやります。」といったときに使う市民協働ツールです。

ところが、今は主にただの通報ツールになってしまっているのも、本来のマイレポはんだの使い方ということで書かせていただきました。

○中村宗雄議員

もともとフィックスマイストリートという仕組みで、公園のベンチを直す時に「ペンキを持っていくけど、刷毛を持っている人はいませんか。」と市民のやる気のある人たちが集まって自らの力で直していく仕組みですが、いまは苦情通報ツールとなっています。先進的な千葉市では、道路マイスターとか草刈りチャンピオンとか、市民の気付いた人がやっていく仕組みなんです。

半田市は途中までやって放ってしまうので、こうなっていることに警鐘を鳴らしています。

○澤田勝議長

今の副議長の質問については、職員が見たときにわかるかという心配がありますので、その点の修正を委員長のほうで加えていただくようお願いします。

ほかにありませんか。

○新美保博議員

自動車での道路パトロールですが、あれで道路瑕疵が分かるはずがない。だったらどうするのか、何がしかの方策を出してあげないといけない。どうしたらパトロールができるかを出してあげたほうが良い。

○鈴木幸彦建設産業委員長

おっしゃるとおりです。分科会の中でもそのような話が出ていて、自転車なのか原付なのか。あるいは月間を決めて道路監視月間として地域の皆さんに案内して皆さんの目でチェックしていただく等の話が出ていましたので、そのあたりも書き加えたいと思います。

○澤田勝議長

今の道路パトロールは廃止すべき事業に位置付けられているので、他のところに記入をお願いします。

ほかにありませんか。

(「なし」との声あり)

ないようですので、以上で3常任委員会の事業評価を終わり、これを議会としての事業評価としますのでご承知おきください。

修正いただいた箇所については、各常任正副委員長に一任するという事でよろしいですか。

（「異議なし」との声あり）

では、そのようにお願いします。

修正期限ですが、明日12日中に事務局を通じて議長までお願いします。それを拝見したうえで、明後日13日に各委員さんにはメール等で配布しますのでご確認ください。14日午後4時半に市長に持っていくしますのでお願いします。

協議題2. その他ですが、何かありますか。

（「なし」との声あり）

ないようですので、これで議員総会を終了いたします。

午後 3時44分 閉会